

澤田英史 略年譜

- 一九五〇年（昭和二十五年） 十月十一日 東京生まれ。生後間もなく兵庫県生野町へ移る。
- 一九六九年（昭和四十四年） 兵庫県立生野高校卒業。現代詩や小説等文学に興味を持ち始める。
- 一九七〇年（昭和四十五年） 京都大学文学部入学。ヌーヴォーロマンに憧れ、小説や詩の同人誌を作る。
- 一九七五年（昭和五十年） 松岡ひろし名義で「野わき峠」「シヌトキクレバ片手ヲアゲル男ノウタ」を作詞、武者小路千達氏の作曲・歌唱でベル・エポック社よりレコード発売。
- 大学を卒業し、兵庫県立加古川西高校に赴任。
- 一九七八年（昭和五十二年） 檀上真理子と結婚。
- 一九七九年（昭和五十四年） 長女・芙貴子誕生。
- 一九八〇年（昭和五十五年） 兵庫県立加古川北高校に転任。長男・圭誕生。
- 一九八五年（昭和六十年） 兵庫県立長田高校に転任。又江啓恵氏との交流から現代短歌の面白みを知る。
- 一九八八年（昭和六十三年） 神戸大学大学院教育学研究科に内地留学。国語教育学を専攻する。研究室仲間と連句作りなどに興じる。俳号は「江石」。
- 一九八九年（平成元年） 大学時代の親友の交通事故死を悼んで作った歌が「朝日歌壇」で馬場あき子選に採られたことを機に作歌活動を始める。
- 一九九〇年（平成二年） 神戸大学大学院を修了。教壇に復帰。
- 一九九一年（平成三年） 山桃忌奉賛第六回短歌祭に応募した作品が神戸新聞社賞を受賞。授賞式でポトナム短歌会の上野晴夫氏と出会う。
- 一九九二年（平成四年） ポトナム短歌会に入会。上野氏の指導を受ける。

一九九五年（平成七年）

「方向指示灯」^{グリーンライト}三十首でポトナム結社賞の

白楊賞を受賞。

一九九六年（平成八年）

兵庫県立芦屋高校に転任。

一九九七年（平成九年）

「異客」^{いかく}五十首で第四十三回角川短歌賞を受賞。

一九九八年（平成十年）

兵庫勤労市民センター「短歌入門」講座開始。

一九九九年（平成十一年）

第一歌集「異客」^{いかく}を柘書房より刊行。同書で平成十一年度現代歌人集会賞を受賞。

二〇〇〇年（平成十二年）

ポトナムの編集委員、選者となる。現代歌人集会、現代歌人協会に入会。

二〇〇一年（平成十三年）

生田神社曲水の宴に参加。

二〇〇三年（平成十五年）

読売新聞神戸版「兵庫よみうり文芸」短歌欄選者となる。

二〇〇四年（平成十六年）

第二歌集「沢田英史集」を邑書林より刊行。

長女芙貴子結婚。

二〇〇六年（平成十八年）

孫・山口ひなた誕生。「陽のあたる明るい道を

歩むやう やさしかれとぞひなたと名付く」

の歌を贈る。

二〇〇七年（平成十九年）

第三歌集「さんさしおん」を角川書店より

刊行。

二〇〇八年（平成二十年）

孫・山口楓誕生。「しげりたつ楓のごとく
ほしろく いろあざやげるひと生をいきよ」
の歌を贈る。

二〇〇九年（平成二十一年）

県立芦屋高校を退職。

二〇一〇年（平成二十二年）

テレビテキスト「NHK短歌」8月号に
「自選五十首」掲載。

二〇一二年（平成二十四年）

故郷の生野町奥銀谷に歌碑建立。「あがさ
とは はるははなさき 夏しげり あき
はもみぢに 冬はゆきつむ」

二〇一五年（平成二十七年）

九月十三日逝去。法名「英峰院釋史教」。
生野町の浄願寺に眠る。

（作成協力：澤田真理子氏・山口芙貴子氏）

（竹内 隆 作成）